

平成22年度 大分県登録販売者試験

《 午 後 の 部 》

大 分 県

受 験 番 号	氏 名

【主な医薬品とその作用】

問61

かぜの症状やかぜ薬に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア かぜであるからといって必ずしもかぜ薬（総合感冒薬）が選択されるのが最適というわけではない。
- イ インフルエンザ（流行性感冒）は、かぜと同様、ウイルスの呼吸器感染によるものであるが、感染力が強く、また、重症化しやすい。
- ウ かぜ薬は、咳で眠れなかつたり、発熱で体力を消耗しそうなときなどに、それらの諸症状の緩和を図り、また、ウイルスの増殖を抑えるものである。
- エ 発熱や頭痛を伴って、悪心・嘔吐、下痢等の消化器症状が現れることがあり、俗に「お腹にくるかぜ」などと呼ばれるが、これらもかぜの症状である。

- 1 (ア、イ) 2 (ア、ウ) 3 (イ、エ) 4 (ウ、エ)

問62

以下のかぜ薬に配合される成分のうち、解熱鎮痛成分として、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア イソプロピルアンチピリン
- イ マレイン酸カルビノキサミン
- ウ アセチルサリチル酸
- エ グアイフェネシン

- 1 (ア、イ) 2 (ア、ウ) 3 (イ、エ) 4 (ウ、エ)

【主な医薬品とその作用】

問63

かぜ薬に配合される成分とその配合目的の関係について、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

成分	配合目的
ア 臭化水素酸デキストロメトルファン	— ^{たん} 痰の切れを良くする
イ プロメライン	— 炎症による腫 ^は れを和らげる
ウ エテンザミド	— 鼻粘膜の充血を和らげ、気管・気管支を広げる
エ 塩酸クロペラスチン	— 咳 ^{せき} を抑える

1 (ア、イ) 2 (ア、ウ) 3 (イ、エ) 4 (ウ、エ)

問64

かぜ薬に配合される成分に関する以下の記述のうち、誤っているものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 塩化リゾチームは、鶏卵の卵白から抽出した^{たん}蛋白質であるため、鶏卵アレルギーがある人では使用を避ける必要がある。
- 2 アセトアミノフェンについては、15歳未満の小児で水痘^{とう}（水疱瘡^{ぼうそう}）又はインフルエンザにかかっているときは使用してはならない。
- 3 ノスカピンは、非麻薬性鎮咳^{がい}成分とも呼ばれる。
- 4 フマル酸クレマスチンが配合された内服薬を服用した後は、乗物又は機械類の運転操作を避けることとされている。

【主な医薬品とその作用】

問65

以下の記述にあてはまる漢方処方製剤を下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

かぜのひき始めから数日たって微熱があり、寒気、頭痛、吐き気がする等のかぜの後期の症状に適すとされている。

- 1 さいこけいしとう 柴胡桂枝湯
- 2 かつこんとう 葛根湯
- 3 しょうせいりゅうとう 小青竜湯
- 4 けいしとう 桂枝湯
- 5 まおうとう 麻黄湯

問66

解熱鎮痛薬に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア アスピリンは、ピリン系と呼ばれる解熱鎮痛成分である。
- イ アスピリンは、他の解熱鎮痛成分に比べて胃腸障害が起こりやすいとされている。
- ウ サザピリンについては、一般用医薬品では、15歳未満の小児に対していかなる場合も使用しないこととなっている。
- エ 内服用の解熱鎮痛薬とアセトアミノフェンが配合された坐薬とは影響し合わないため、併用してもよい。

- 1 (ア、イ) 2 (ア、エ) 3 (イ、ウ) 4 (ウ、エ)

【主な医薬品とその作用】

問67

アリルイソプロピルアセチル尿素に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 反復して摂取しても依存を生じる恐れはない。
- イ 服用した後は、乗物又は機械類の運転操作を避ける必要がある。
- ウ かぜ薬や解熱鎮痛薬には、副作用の弊害から成分として配合されることはない。
- エ 服用する場合は、飲酒を避ける必要がある。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	正	誤
2	正	誤	誤	正
3	誤	正	正	正
4	誤	正	誤	正
5	誤	誤	正	誤

問68

抗ヒスタミン成分を主薬とする睡眠改善薬に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 慢性的に不眠症状がある人を対象としたものである。
- イ 眠気とは正反対の作用を生じて、神経過敏や興奮などが現れることがある。
- ウ 15歳未満の小児では使用を避ける必要がある。
- エ 目が覚めた後も、注意力の低下や寝ぼけ様症状などを起こすことがある。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	正	誤
2	正	正	誤	誤
3	正	誤	誤	正
4	誤	正	正	正
5	誤	正	誤	正

【主な医薬品とその作用】

問69

塩酸ジフェニドールに関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 3歳未満の乳幼児向け乗物酔い防止薬にも配合されている。
- イ 眠気を促すことはない。
- ウ 緑内障の診断を受けた人では、その症状を悪化させる恐れがある。
- エ 内耳にある前庭と脳を結ぶ神経（前庭神経）の調節作用がある。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	正	誤
2	正	正	誤	正
3	正	誤	誤	誤
4	誤	正	誤	正
5	誤	誤	正	正

問70

鎮咳去痰薬に配合される成分と作用の関係について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

	成分	作用
ア	ヒベンズ酸チペピジン	－ 抗炎症作用
イ	塩化リゾチーム	－ 鎮咳 ^{がい} 作用
ウ	グアヤコールスルホン酸カリウム	－ 去痰 ^{たん} 作用
エ	塩化セチルピリジニウム	－ 殺菌消毒作用

- 1 (ア、イ) 2 (ア、エ) 3 (イ、ウ) 4 (ウ、エ)

【主な医薬品とその作用】

問71

鎮咳去痰薬に配合される生薬成分と起源及び作用に関する以下の組み合わせについて、誤っているものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- | 生薬成分 | 起源及び作用 |
|----------|--|
| 1 キキョウ | キキョウ科のキキョウの根を用いた生薬で、痰又は痰を伴う咳に用いられる。 |
| 2 セネガ | ヒメハギ科のセネガ又はその同属植物の根を用いた生薬で、鎮咳作用を期待して用いられる。 |
| 3 ナンテンジツ | メギ科のナンテンの果実を用いた生薬で、知覚神経・末梢運動神経に作用して咳止めに効果があるとされる。 |
| 4 キョウニン | バラ科のアンズの種子を用いた生薬で、体内で分解されて生じた代謝物の一部が延髄の呼吸中枢、咳嗽中枢を鎮静させる作用を示すとされる。 |

問72

咳及び痰に関する以下の記述のうち、正しいものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 咳がひどく痰に線状の血が混じることがある、又は黄色や緑色の膿性の痰を伴うような場合は、一般用医薬品の使用によって対処を図るのがよい。
- 咳や痰、息切れ等の症状が長期間に渡っている場合には、慢性気管支炎や肺気腫などの慢性閉塞性肺疾患の可能性があり、医師の診療を受けることが望ましい。
- 痰を伴わない乾いた咳が続く場合には、間質性肺炎等の初期症状である可能性があるが、その原因が医薬品の副作用によるものであることはない。
- 喫煙に伴う症状に限っては、鎮咳去痰薬を長期間に渡って使用してもよいとされている。

【主な医薬品とその作用】

問 7 3

制酸成分に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 制酸成分を主体とする胃腸薬を、炭酸飲料で服用することは適当でない。
イ 腎臓病の診断を受けた人では、ナトリウム、カルシウム等の無機塩類の排泄が遅れたり、体内に貯留しやすくなるため、制酸成分を主体とする胃腸薬を使用する前に、治療を行っている医師又は処方薬の調剤を行った薬剤師に相談がなされることが望ましい。
ウ 制酸成分は、解熱鎮痛薬の作用を減弱させるため、かぜ薬、解熱鎮痛薬には配合しないこととされている。
エ アルミニウムを含む成分については、透析療法を受けている人では使用を避ける必要がある。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	正	誤
2	正	正	誤	正
3	正	誤	誤	誤
4	誤	正	誤	正
5	誤	誤	正	正

問 7 4

胃の薬に配合される成分とその作用の関係について、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

	成分	作用
ア	ジアスターゼ	－ 抗炎症作用
イ	テプレノン	－ 消泡作用
ウ	ロートエキス	－ 胃液分泌抑制作用
エ	アズレンスルホン酸ナトリウム	－ 胃粘膜保護・修復作用

- 1 (ア、イ) 2 (ア、ウ) 3 (イ、エ) 4 (ウ、エ)

【主な医薬品とその作用】

問75

止瀉薬に配合される成分に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

ア 次没食子酸ビスマスは、腸粘膜の蛋白質と結合して不溶性の膜を形成し、腸粘膜をひきしめる（収斂）ことにより、腸粘膜を保護し、炎症を鎮めることを目的として配合されている場合がある。

イ 炭酸カルシウムは、腸管内の異常発酵等によって生じた有害な物質を吸着させる目的として止瀉薬に配合されている場合がある。

ウ 塩酸ロペラミドが配合された止瀉薬は、食あたりや水あたりによる下痢の症状に用いることを目的としている。

エ 塩化ベルベリンは、細菌感染によらない下痢を鎮めることを目的として用いられる。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	誤	誤
2	正	誤	正	誤
3	誤	正	正	正
4	誤	正	誤	誤
5	誤	誤	誤	正

問76

腸の薬に配合される成分と作用の関係について、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

	成分	作用
ア	クレオソート	— 整腸作用
イ	センナ	— 止瀉作用
ウ	ピサコジル	— 瀉下作用
エ	カルメロースナトリウム	— 瀉下作用

1 (ア、イ) 2 (ア、エ) 3 (イ、ウ) 4 (ウ、エ)

【主な医薬品とその作用】

問 77

かん
浣腸薬に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア かん
浣腸薬は直腸内に適用される医薬品であるため、経口薬とは異なり、繰り返し使用しても感受性の低下は生じない。
- イ かん
浣腸薬は、流産・早産を誘発するおそれはないため、妊婦又は妊娠していると思われる女性でも使用を避ける必要はない。
- ウ かん
グリセリンが配合された浣腸薬が、肛門や直腸の粘膜に損傷があり出血しているときに使用されると、グリセリンが傷口から血管内に入って、赤血球の破壊（溶血）を引き起こすおそれがある。
- エ かん
グリセリンは、浸透圧の差によって腸管壁から水分を取り込んで直腸粘膜を刺激し、排便を促す効果を期待して用いられる。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	正	誤
2	正	正	誤	正
3	正	誤	誤	誤
4	誤	正	正	誤
5	誤	誤	正	正

問 78

駆虫薬に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 駆虫薬は、腸管内に生息する虫体にのみ作用する。
- イ 一般用医薬品の駆虫薬が対象とする寄生虫は、回虫とぎょう蟯虫である。
- ウ 再度駆虫を必要とする場合は、7日以上間隔を置いてから使用することとされている。
- エ 駆虫薬は、空腹時に使用することとされているものが多い。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	正	誤
2	正	正	誤	正
3	正	誤	誤	誤
4	誤	正	正	誤
5	誤	誤	誤	正

【主な医薬品とその作用】

問79

血中コレステロールと高コレステロール改善成分に関する以下の記述について、誤っているものを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 血液中の高密度リポ蛋白質（HDL）が多く、低密度リポ蛋白質（LDL）が少ないと、心臓病や肥満、動脈硬化症等の生活習慣病につながる危険性が高くなる。
- 2 高コレステロール改善薬に酪酸リボフラビンが配合されている場合があり、リボフラビンの摂取によって尿が黄色になることがあるが、これは使用の中止を要する副作用等の異常ではない。
- 3 ビタミンEは、血中コレステロール異常に伴う末梢血行障害（手足の冷え、痺れ）の緩和等を目的として用いられる。
- 4 大豆油不飽和脂肪酸（ソイステロール）には、末梢組織におけるコレステロールの吸収を抑える働きがあるとされる。

問80

貧血用薬に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 鉄製剤を服用すると便が黒くなることがある。
- イ コバルトは赤血球ができる過程で必要不可欠なビタミンB12の構成成分であり、骨髄での造血機能を高める作用を期待して、硫酸コバルトが配合されている場合がある。
- ウ ビタミンC（アスコルビン酸等）は、消化管内で鉄が吸収されやすい状態（ヘム鉄）に保つことを目的として用いられる。
- エ 服用の前後30分にタンニン酸を含む飲食物（緑茶、紅茶、コーヒー等）を摂取すると、タンニン酸と反応して鉄の吸収が良くなる。

- 1 (ア、イ) 2 (ア、ウ) 3 (イ、エ) 4 (ウ、エ)

【主な医薬品とその作用】

問 8 1

強心薬の代表的な配合成分に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア センソは、ヒキガエル科のシナヒキガエル又はヘリグロヒキガエルの毒腺^{せん}の分泌物を集めたもので、微量で強い強心作用を示す。
- イ ジャコウは、シカ科のジャコウジカ又はその近縁動物の雄のジャコウ腺^{せん}分泌物を乾燥したもので、強心作用のほか、呼吸中枢を刺激して呼吸機能を高める等の作用があるとされる。
- ウ ゴオウは、シカ科のシベリアジカ、マンシュウアカジカ等の雄の幼角を用いた生薬で、強心作用の他、強壯、血行促進等の作用があるとされる。
- エ ロクジョウは、ウシ科のウシの胆嚢^{のう}中に生じた結石を用いた生薬で、強心作用のほか、末梢血管の拡張による血圧降下、興奮を静める等の作用があるとされる。

- 1 (ア、イ) 2 (ア、ウ) 3 (イ、エ) 4 (ウ、エ)

問 8 2

以下の生薬成分のうち、新陳代謝促進、殺菌、抗炎症等の作用を期待して外用痔疾用薬として用いられるものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 オウゴン
- 2 カゴソウ
- 3 シコン
- 4 センナ
- 5 カンゾウ

【主な医薬品とその作用】

問 8 3

以下の記述にあてはまる漢方処方製剤を下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

虚弱体質で肩がこり、疲れやすく、精神不安等の精神神経症状、ときに便秘の傾向のある女性における冷え症、虚弱体質、月経不順、月経困難、更年期障害、血の道症に適すとされるが、胃腸の弱い人では悪心（吐き気）、嘔吐、胃部不快感、下痢等の副作用が現れやすい等、不向きとされる。

まれに重篤な副作用として、肝機能障害を生じることが知られている。

- 1 四物湯
しもつとう
- 2 加味逍遙散
かみしょうようさん
- 3 柴胡桂枝乾姜湯
さいこけいしかんきょうとう
- 4 桂枝茯苓丸
けいしぶくりようがん
- 5 桃核承気湯
とうかくじょうきとう

問 8 4

婦人用薬及び女性に現れる特有な諸症状に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

ア 内服で用いられる婦人用薬は、比較的作用が穏やかで、ある程度長期間使用することによって効果が得られるとされる。

イ 月経痛について、年月の経過に伴って次第に増悪していくような場合や大量の出血を伴う場合には、子宮内膜症などの病気の可能性がある。

ウ 月経不順については、卵巣機能の不全による場合もあるが、過度のストレスや、不適切なダイエット等による栄養摂取の偏りによって起こることもある。

エ おりものは女性の生殖器からの分泌物で、卵巣が働いている間は、程度の差はあるものの、ほとんどの女性にみられる。

- | | ア | イ | ウ | エ |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 正 | 正 | 正 | 正 |
| 2 | 正 | 正 | 誤 | 誤 |
| 3 | 正 | 誤 | 誤 | 正 |
| 4 | 誤 | 正 | 正 | 正 |
| 5 | 誤 | 誤 | 正 | 誤 |

【主な医薬品とその作用】

問 8 5

以下のアレルギー用薬に用いられる成分のうち、肥満細胞から遊離したヒスタミンが受容体と反応するのを妨げることにより、ヒスタミンの働きを抑える作用を示す成分（抗ヒスタミン成分）として、誤っているものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 塩酸ジフェニルピラリン
- 2 マレイン酸クロルフェニラミン
- 3 塩酸ジフェンヒドラミン
- 4 塩酸メチルエフェドリン
- 5 フマル酸クレマスチン

問 8 6

眼科用薬に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 洗眼薬は、結膜炎（はやり目）や麦粒腫（ものもらい）、眼瞼炎（まぶたのただれ）等に用いられる。
- イ 人工涙液は、涙液成分を補うことを目的とするもので、目の疲れや乾き、コンタクトレンズ装着時の不快感等に用いられる。
- ウ 抗菌性点眼薬は、目の洗浄、眼病予防に用いられるもので、主な配合成分として涙液成分のほか、抗炎症成分、抗ヒスタミン成分等が用いられる。
- エ 点眼薬は、結膜嚢（結膜で覆われた眼瞼（まぶた）の内側と眼球の間の空間）に適用するものであるため、通常、無菌的に製造されている。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	正	誤
2	正	誤	正	正
3	正	誤	誤	正
4	誤	正	正	正
5	誤	正	誤	正

【主な医薬品とその作用】

問 8 7

眼科用薬に用いられるビタミン成分に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア ビタミンAは、視細胞が光を感受する反応に関与していることから、視力調整等の症状を改善する効果を期待して用いられる。
- イ ビタミンB5は、正常な角膜中に存在するビタミン成分で、明暗順応に補酵素として働く。新陳代謝を改善する効果を期待して用いられる。
- ウ ビタミンB6は、アミノ酸の代謝や神経伝達物質の合成に関与していることから、目の疲れ等の症状を改善する効果を期待して用いられる。
- エ ビタミンB12は、目の調節機能を助ける作用を期待して用いられる。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	誤	正
2	正	誤	正	正
3	正	誤	正	誤
4	誤	正	正	誤
5	誤	誤	誤	正

問 8 8

以下の殺菌消毒成分のうち、結核菌を含む一般細菌類、真菌類、ウイルスに対して殺菌消毒作用を示すものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 アクリノール
- 2 オキシドール
- 3 ポビドンヨード
- 4 グルコン酸クロルヘキシジン
- 5 マーキュロクロム

【主な医薬品とその作用】

問 89

皮膚に用いられる医薬品成分に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 酢酸トコフェロールは、血行促進成分として用いられる。
- イ 尿素は、角質層の水分保持量を高め、皮膚の乾燥を改善することを目的として用いられる。
- ウ ステロイド性抗炎症成分は化膿^{のう}している患部に用いられる。
- エ ヘパリン類似成分は、血管を収縮させることによる止血効果を期待して用いられる。

- 1 (ア、イ) 2 (ア、ウ) 3 (イ、エ) 4 (ウ、エ)

問 90

以下の皮膚に用いられる医薬品成分のうち、抗真菌成分に分類されるものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 スルフィソミジン
- 2 ビホナゾール
- 3 硫酸フラジオマイシン
- 4 ポリエチレンスルホン酸ナトリウム
- 5 ホモスルファミン

【主な医薬品とその作用】

問91

皮膚に用いられる薬に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 貼付剤は、なるべく同じ部位に連続して使用する。
- イ 塗り薬を使用する場合、いったん薬剤を容器から手の甲などに必要量を取ってから患部に塗布することが望ましい。
- ウ 入浴後は表皮の角質層が柔らかくなり、有効成分が浸透しやすくなる。
- エ 噴霧剤は、患部の至近距離から噴霧し、3秒以上連続して噴霧することが望ましい。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	誤	正
2	正	正	誤	誤
3	正	誤	正	誤
4	誤	正	正	誤
5	誤	正	誤	誤

問92

肌の角質化及び角質軟化成分に関する以下の記述について、()の中に入れるべき字句の正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- (ア)は、角質の^{しん}芯が真皮に^{しん}くい込んでいるため、圧迫されると痛みを感じるのに対し、
(イ)は、角質層の一部が単純に肥厚したもので^{しん}芯がなく、通常、痛みは伴わない。
角質軟化成分のうち、(ウ)は角質成分を溶解することにより角質軟化作用を示す。

	ア	イ	ウ
1	たこ	うおのめ	オリーブ油
2	たこ	うおのめ	サリチル酸
3	うおのめ	たこ	サリチル酸
4	うおのめ	たこ	オリーブ油
5	うおのめ	たこ	グリセリン

【主な医薬品とその作用】

問93

皮膚に用いられる薬に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア スルフィソキサゾールは、細菌のDNA合成を阻害することにより抗菌作用を示す。
- イ ウンデシレン酸は、細菌の蛋白質合成を阻害することにより抗菌作用を示す。
- ウ クロラムフェニコールは、細菌の細胞壁合成を阻害することにより抗菌作用を示す。
- エ 塩酸ブテナフィン^{たん}は、皮膚糸状菌の細胞膜を構成する成分の産生を妨げることにより、その増殖を抑える。

- 1 (ア、イ) 2 (ア、エ) 3 (イ、ウ) 4 (ウ、エ)

問94

頭皮・毛根に作用する配合成分に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 安息香酸エストラジオールは、適用局所においてコリン作用を示し、頭皮の血管を拡張、毛根への血行を促すことによる発毛効果を期待して用いられる。
- イ 女性ホルモンによる脱毛抑制効果を期待して、塩化カルプロニウムが配合される場合がある。
- ウ カシュウは、タデ科ツルドクダミの塊根を用いた生薬で、頭皮における脂質代謝を高めて、余分な皮脂を取り除く作用を期待して用いられる。
- エ ヒノキチオールは、ヒノキ科のタイワンヒノキ、ヒバ等から得られた精油成分で、抗菌、血行促進、抗炎症などの作用を期待して用いられる。

- 1 (ア、イ) 2 (ア、エ) 3 (イ、ウ) 4 (ウ、エ)

【主な医薬品とその作用】

問95

歯や口中に用いられる薬に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア フェノールは、^う齶蝕を生じた部分における細菌の繁殖を抑えることを目的として用いられる。
- イ ビタミンB1は、血液の凝固機能を正常に保つ働きがあるため、炎症を起こした歯周組織からの出血を抑える作用を期待して用いられる。
- ウ アラントインは、炎症を起こした歯周組織の修復を促す作用を期待して^{そうのうろう}歯槽膿漏薬に配合されている場合がある。
- エ カルバゾクロムは、^う齶蝕により露出した^{ずい}歯髄を^{くう}通っている知覚神経の伝達を遮断して痛みを鎮めることを目的として用いられる。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	誤	正
2	正	誤	正	正
3	正	誤	正	誤
4	誤	正	正	誤
5	誤	誤	誤	正

問96

ニコチン置換療法に使用されるニコチンを有効成分とする医薬品（^{そしやく}咀嚼剤）に関する以下の記述のうち、誤っているものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 ^{くう}口腔内がアルカリ性になるとニコチンの吸収が低下するため、^{くう}口腔内をアルカリ性にする食品を摂取した後しばらくは使用を避けることとされている。
- 2 ^か噛むことにより^{くう}口腔内でニコチンが放出され、^{くう}口腔粘膜から吸収されて循環血液中に移行する。
- 3 重い狭心症や不整脈と診断された人では、循環器系に重大な悪影響を及ぼすおそれがあるため、使用を避ける必要がある。
- 4 長期間に渡って使用されるべきものでなく、使用期間は3ヶ月を目途とし、6ヶ月を超える使用は避けることとされている。

【主な医薬品とその作用】

問 9 7

滋養強壮保健薬に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア ビタミンD主薬製剤は、エルゴカルシフェロール又はコレカルシフェロールが主薬として配合され、骨歯の発育不良、くる病の予防、また妊娠・授乳期、発育期、老年期のビタミンDの補給に用いられる。
- イ ナイアシンは、皮膚や粘膜などの機能を維持することを助ける栄養素として、配合される場合がある。
- ウ ビタミンB2主薬製剤は、塩酸ピリドキシリン又はリン酸ピリドキサールが主薬として配合され、口角炎、口唇炎、口内炎、舌炎等におけるビタミンB2の補給に用いられる。
- エ アミノエチルスルホン酸（タウリン）は、皮膚におけるメラニンの生成を抑えるため、しみ・そばかす・日焼けなどの色素沈着症の症状の緩和に用いられる。

- 1 (ア、イ) 2 (ア、ウ) 3 (イ、エ) 4 (ウ、エ)

問 9 8

以下の記述に当てはまる漢方処方製剤を下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

腹部に皮下脂肪が多く、便秘がちな人における、高血圧の随伴症状（動悸^き、肩こり、のぼせ）、肥満症、むくみ、便秘の症状に適すとされるが、体の虚弱な人（体力の衰えている人、体の弱い人）、胃腸が弱く下痢しやすい人、発汗傾向の著しい人では、激しい腹痛を伴う下痢等の副作用が現れやすい等、不向きとされる。また、小児に対する適用はない。また、本剤を使用するときには、他の瀉下薬との併用は避けることとされている。

- 1 びやっこかにんじんとう
白虎加人参湯
- 2 ほちゅうえつきとう
補中益気湯
- 3 きょうせいはてきがん
響声破笛丸
- 4 だいおうかんぞうとう
大黄甘草湯
- 5 ぼうふうつうしょうさん
防風通聖散

【主な医薬品とその作用】

問 9 9

公衆衛生用薬に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア ジクロロイソシアヌル酸ナトリウム、トリクロロイソシアヌル酸等の有機塩素系殺菌消毒成分は、塩素臭や刺激性、金属腐食性が比較的抑えられており、プール等の大型設備の殺菌・消毒に用いられることが多い。
- イ 有機リン系殺虫成分の殺虫作用は、神経細胞に直接作用して神経伝達を阻害することによるものである。
- ウ ピレスロイド系殺虫成分の殺虫作用は、コリンエステラーゼと不可逆的に結合してその働きを阻害することによるものである。
- エ 忌避成分としては、ディートが最も効果的で、効果の持続性も高いとされている。

- 1 (ア、イ) 2 (ア、エ) 3 (イ、ウ) 4 (ウ、エ)

問 1 0 0

一般用検査薬に関する以下の記述のうち、誤っているものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 一般用検査薬は、一般の生活者が日常において自らの体調をチェックすることを目的としている。
- 2 妊娠検査薬を使用する場合の採尿は、尿中のヒト絨毛性性腺刺激ホルモン（hCG）が検出されやすい早朝尿（起床直後の尿）が向いているが、尿が濃すぎると、かえって正確な結果が得られないこともある。
- 3 妊娠検査薬を使用する場合、経口避妊薬や更年期障害治療薬などのホルモン剤を使用している人では、妊娠していなくても尿中のヒト絨毛性性腺刺激ホルモン（hCG）が検出されることがある。
- 4 尿糖・尿たん蛋白検査薬を使用する場合の採尿は、出始めの尿を採取して検査がなされることが望ましい。

【薬事関係法規・制度】

問101

薬局に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 薬局は、その所在地の市町村長の許可を受けなければ開設してはならない。
- イ 医薬品を取り扱う場所であって、薬局として開設の許可を受けていないものについては、病院又は診療所の調剤所を除き、薬局の名称を付してはならない。
- ウ 薬局は、「薬剤師が販売又は授与の目的で調剤の業務を行う場所（その開設者が医薬品の販売業を併せ行う場合には、その販売業に必要な場所を含む。）」と薬事法に定義されている。
- エ 薬局の管理者は、薬剤師又は登録販売者でなければならない。

- 1 (ア、イ) 2 (ア、エ) 3 (イ、ウ) 4 (ウ、エ)

問102

薬局に関する以下の記述のうち、誤っているものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 薬局の管理者は、保健衛生上の支障を生ずるおそれがないように、その薬局の業務につき、薬局開設者に対して必要な意見を述べなければならない。
- 2 薬局開設者は、医薬品を開封して分割販売することはできない。
- 3 調剤を実施する薬局は、医療法の規定により医療提供施設に位置づけられている。
- 4 薬局では、医療用医薬品及び一般用医薬品のすべての医薬品を取り扱うことができる。

【薬事関係法規・制度】

問103

店舗販売業に関する以下の記述のうち、正しいものを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 第一類医薬品については、薬剤師により販売又は授与させなければならないこととされている。
- 2 店舗管理者は、登録販売者でなければならない。
- 3 薬剤師が従事する店舗においては、調剤を行うことができる。
- 4 医師などの医療従事者に対しては、医療用医薬品を販売することができる。

問104

店舗販売業に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 店舗販売業者は、配置販売業の許可を併せて受けることができない。
- イ 店舗管理者は、保健衛生上支障を生ずるおそれがないように、その店舗に勤務する他の従事者を監督するなど、その店舗の業務につき、必要な注意をしなければならず、また、店舗販売業者に対して必要な意見を述べなければならない。
- ウ 店舗販売業の許可を受けようとする店舗が必要な構造設備を備えていないときは、許可を与えられないことがある。
- エ 店舗販売業の許可を申請する者は、薬剤師または登録販売者でなければならない。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	誤	正
2	正	誤	正	誤
3	誤	正	正	誤
4	誤	誤	正	正
5	誤	誤	誤	正

【薬事関係法規・制度】

問105

以下の記述は、薬事法第24条第1項の条文の一部である。()の中に入れるべき字句の正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

(ア) 又は医薬品の (イ) の許可を受けた者でなければ、業として、医薬品を販売し、授与し、又は販売若しくは授与の目的で貯蔵し、若しくは陳列（配置することを含む。以下同じ。）してはならない。

	ア	イ
1	登録販売者	製造販売業
2	登録販売者	販売業
3	薬局開設者	製造販売業
4	薬局開設者	製造業
5	薬局開設者	販売業

問106

医薬品の販売業に関する以下の記述のうち、誤っているものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 薬事法第25条において、医薬品の販売業の許可は店舗販売業、配置販売業、卸売販売業の三種類に分けられている。
- 2 店舗販売業者は店舗による販売又は授与以外の方法により、医薬品を販売、授与することができない。
- 3 卸売販売業の許可を受けた者は、業として一般の生活者に対して直接医薬品を販売又は授与することができる。
- 4 配置販売業者は配置以外の方法により、医薬品を販売、授与することができない。

【薬事関係法規・制度】

問107

配置販売業に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 配置販売業者は、薬剤師を区域管理者に指定したときは、医療用医薬品を販売又は授与することができる。
- イ 配置販売業は、購入者の居宅に医薬品を予め預けておき、購入者がこれを使用した後でなければ代金請求権を生じないといった販売形態である。
- ウ 配置販売業者は、一般用医薬品のうち第二类医薬品及び第三類医薬品であれば、すべて販売することができる。
- エ 配置販売業の許可は、配置により販売又は授与する業務について、配置しようとする区域をその区域に含む都道府県ごとに、その都道府県知事が与える。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	正	正
2	正	正	誤	誤
3	正	誤	誤	正
4	誤	正	誤	正
5	誤	誤	正	誤

問108

配置販売業の配置員に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 配置員は、医薬品の配置販売に従事したときは、30日以内に従事した区域の都道府県知事にその氏名を届け出なければならない。
- イ 配置員は、区域管理者になることはできない。
- ウ 配置員は、医薬品を開封して分割販売することができない。
- エ 配置員は、その住所地の都道府県知事が発行する身分証明書の交付を受け、かつ、これを携帯しなければ、医薬品の配置販売に従事してはならない。

- 1 (ア、イ) 2 (ア、エ) 3 (イ、ウ) 4 (ウ、エ)

【薬事関係法規・制度】

問109

以下の記述は、薬事法第2条第9項の条文である。()の中に入れるべき字句の正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

この法律で「生物由来製品」とは、人その他の生物(植物を除く。)に由来するものを原料又は材料として製造(小分けを含む。以下同じ。)をされる医薬品、医薬部外品、(ア)又は医療機器のうち、保健衛生上特別の注意を要するものとして、(イ)が薬事・食品衛生審議会の意見を聴いて指定するものをいう。

	ア	イ
1	化粧品	厚生労働大臣
2	化粧品	農林水産大臣
3	健康食品	農林水産大臣
4	健康食品	厚生労働大臣
5	健康食品	都道府県知事

問110

行政庁による薬局開設者に対する処分に関する以下の記述のうち、行政庁が命令することができないものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 業務体制の整備命令
- 2 構造設備の改善命令
- 3 管理薬剤師の解雇命令
- 4 業務停止命令
- 5 廃棄・回収命令

【薬事関係法規・制度】

問 1 1 1

以下の記述のうち、薬事法第2条第1項で定められる医薬品の定義にあてはまらないものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 日本薬局方に収められている物
- 2 人又は動物の疾病の診断、治療又は予防に使用されることが目的とされている物であつて、機械器具、歯科材料、医療用品及び衛生用品（以下「機械器具等」という。）でないもの（医薬部外品を除く。）
- 3 人又は動物の身体の構造又は機能に影響を及ぼすことが目的とされている物であつて、機械器具等でないもの（医薬部外品及び化粧品を除く。）
- 4 人又は動物の保健のためにするねずみ、はえ、蚊、のみその他これらに類する生物の防除の目的のために使用される物であつて機械器具等でないもの

問 1 1 2

一般用医薬品の情報提供に関する以下の記述のうち、登録販売者が取った対応として正しいものを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 使用方法についてたずねられたが、第三類医薬品だったので説明しなかった。
- 2 第二類医薬品を購入しようとしている顧客が急いでいる様子だったので、説明をせずに販売した。
- 3 配置先の顧客から第二類医薬品の使用方法についてたずねられたので、顧客宅へ赴き説明した。
- 4 第一類医薬品と第二類医薬品との相互作用についてたずねられたが、自分が販売した顧客だったので対応した。

【薬事関係法規・制度】

問 1 1 3

以下は薬事法の一部である。()の中に入れるべき字句の正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。なお、同じ記号の()には同じ字句が入ります。

第36条の3 一般用医薬品（専ら動物のために使用されることが目的とされているものを除く。）は、次のように区分する。

第1号 第一類医薬品 その副作用等により日常生活に支障を来す程度の（ア）が生ずるおそれがある医薬品のうちその使用に（イ）必要なものとして厚生労働大臣が指定するもの及びその製造販売の承認の申請に際して第14条第8項第1号に該当するとされた医薬品であつて当該申請に係る承認を受けてから厚生労働省令で定める期間を経過しないもの

第2号 第二類医薬品 その副作用等により日常生活に支障を来す程度の（ア）が生ずるおそれがある医薬品（（ウ）を除く。）であつて厚生労働大臣が指定するもの

第3号 第三類医薬品 第一類医薬品及び第二類医薬品以外の一般用医薬品

	ア	イ	ウ
1	後遺症	専門家の判断が	第一類医薬品
2	後遺症	専門家の判断が	人体に直接使用しないもの
3	健康被害	専門家の判断が	人体に直接使用しないもの
4	健康被害	関し特に注意が	第一類医薬品
5	後遺症	関し特に注意が	人体に直接使用しないもの

問 1 1 4

薬事法第50条において、医薬品の直接の容器又は直接の被包に記載されていなければならない事項が規定されているが、その項目にあてはまらないものを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 製造販売業者の氏名又は名称及び住所
- 2 名称（日本薬局方に収められている医薬品にあつては日本薬局方において定められた名称、その他の医薬品で一般的名称があるものにあつてはその一般的名称）
- 3 重量、容量又は個数等の内容量
- 4 効能又は効果

【薬事関係法規・制度】

問 1 1 5

毒薬及び劇薬に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 劇薬とは、劇性が強いものとして、厚生労働大臣が薬事・食品衛生審議会の意見を聴いて指定する医薬品をいう。
- イ 毒薬を貯蔵する場所には、かぎを施さなければならない。
- ウ 毒薬は14歳未満の者に交付することはできないが、劇薬は交付に対する年齢制限はない。
- エ 毒薬の直接の容器には、白地に赤枠をもって、当該医薬品の品名及び「毒」の文字が赤字で記載されていなければならない。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	正	誤
2	正	正	誤	誤
3	誤	正	誤	正
4	誤	誤	正	誤
5	誤	誤	誤	正

問 1 1 6

一般用医薬品に関する以下の記述のうち、誤っているものを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 人体に直接使用されない検査薬においても、検体の採取に身体への直接のリスクを伴うもの（例えば、血液を検体とするもの）は認められていない。
- 2 用量に関しては、年齢に応じて服用量が定められているなど、それを使用する一般の生活者による判断の余地は少ない。
- 3 効能効果の表現に関しては、診断疾患名（例えば、胃炎、胃・十二指腸潰瘍^{かいよう}等）で示されている。
- 4 医師等の診療によらなければ一般に治癒が期待できない疾患（例えば、がん、糖尿病、心臓病等）に対する効能効果は認められていない。

【薬事関係法規・制度】

問 1 1 7

医薬品等の陳列方法に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 一般用医薬品と化粧品を区別して陳列した。
- イ 第三類医薬品と健康食品を区別せずに陳列した。
- ウ 第二类医薬品と第三類医薬品を区別して陳列した。
- エ 一般用医薬品と医薬部外品を区別せずに陳列した。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	誤	正	誤
2	正	誤	誤	正
3	誤	正	正	正
4	誤	正	誤	誤
5	誤	誤	誤	正

問 1 1 8

用語とその説明の関係について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

	用語	説明
ア	食品	－ 医薬品以外のすべての飲食物。
イ	栄養機能食品	－ 1日当たりの摂取目安量に含まれる栄養成分量が、厚生労働省の定める上・下限値の規格基準に適合して含有されており、その栄養成分の機能の表示を行うことが認められているもの。
ウ	特定保健用食品	－ 身体の生理学的機能等に影響を与える保健機能成分を含む食品で、特定の保健の用途に資する旨の表示が許可されたもの。
エ	健康食品	－ 健康の維持増進に役立つものとして厚生労働大臣が認可したもの。

1 (ア、イ) 2 (ア、エ) 3 (イ、ウ) 4 (ウ、エ)

【薬事関係法規・制度】

問119

医薬品等の広告に関する以下の記述について、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 食品や雑貨等の医薬品以外のものの広告であっても、内容によっては薬事法の規制の対象になる。
- イ 複数の効能がある医薬品では、そのうち一つを抜き出して広告することができる。
- ウ 効能、効果又は性能に関して、明示的であると暗示的であるとを問わず、虚偽又は誇大な記事を広告し、記述し、又は流布してはならない。
- エ 使用前・使用後の比較広告は効果の説明として認められている。

- 1 (ア、ウ) 2 (ア、エ) 3 (イ、ウ) 4 (イ、エ)

問120

医薬品の組み合わせ販売に関する記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア リスク区分の異なる一般用医薬品の組み合わせ販売は認められていない。
- イ 組み合わせた医薬品について十分な情報提供が可能であり、かつ、組み合わせることに合理性が認められるものであれば、購入者の利便性のために医薬品とガーゼなど医薬品以外の物品を組み合わせ販売することは認められている。
- ウ 医薬品を懸賞や景品として授与することは、サンプル品を提供するような場合を除き、原則として認められていない。
- エ 薬事法に基づく法定表示が、組み合わせ販売のため使用される容器の外から明瞭に見えるようになっている必要がある。

- | | ア | イ | ウ | エ |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 正 | 正 | 正 | 誤 |
| 2 | 正 | 誤 | 正 | 誤 |
| 3 | 正 | 誤 | 誤 | 正 |
| 4 | 誤 | 正 | 正 | 正 |
| 5 | 誤 | 正 | 誤 | 誤 |